

ふりがな	じぞうでんいせき-きゆうせつきじだいへん-								
書名	地蔵田遺跡－旧石器時代編－								
副書名									
巻次									
シリーズ名									
シリーズ番号									
編著者	安田忠市・神田和彦・菊池強一・鹿又喜隆								
編集機関	秋田市教育委員会								
所在地	〒010-0951 秋田県秋田市山王二丁目1番53号山王21ビル内 TEL 018-866-2246 FAX 018-866-2252								
発行年月日	2011年3月								
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 m ²	調査原因	
所収遺跡名	所在地	市	町						村
じぞうでんいせき 地蔵田遺跡	あきたしごしょのじぞうでん 秋田市御所野地蔵田 三丁目地内	05201		311	39度 39分 29秒	140度 9分 29秒	19850411 ～ 19851210	730	秋田新都市開発整備事業に伴う発掘調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項		
地蔵田遺跡	遺物包含地	旧石器時代	ブロック14箇所		旧石器 4,447点 (石斧4点、ナイフ形石器5点、ペン先形ナイフ形石器22点、台形様石器39点、サイドスクレイパー8点、エンドスクレイパー4点、ノッチ5点、鋸歯縁石器7点、二次加工のある剥片18点、石核71点、礫器9点、剥片1,555点、チップ2,700点)		後期旧石器時代前半期の石器群。14箇所のブロックが確認され、「環状ブロック群」を呈する。		
要約	遺跡は秋田平野南部の御所野台地に所在し、地形区分では低位段丘面のL1面に立地している。旧石器資料は、第IVa・IVb層から出土し、石斧・ナイフ形石器・ペン先形ナイフ形石器・台形様石器・サイドスクレイパー・エンドスクレイパー・ノッチ・鋸歯縁石器・二次加工のある剥片・石核・礫器・剥片・チップなどが出土し、石器群の様相から後期旧石器時代前半期のものと考えられる。石器とともに出土した炭化物片3点から、14C年代で約28,000～30,000年前の年代値が得られた。剥片生産技術は、明確な石刃技法はなく、横長・幅広剥片剥離技術が主体的である。出土石器の分布はブロックが14箇所あり、「環状ブロック群」を呈している。ナイフ形石器・ペン先形ナイフ形石器などの主要なツール類は、環状ブロック群の中央部に集中し、使用痕分析の結果から、これらは刺突に用いられたと考えられる。また、石斧や礫器は環状ブロック群周辺部から出土し、石斧は皮なめしに使用したと推定される。								